

「おもてなし研修会」が開催されました ～舞鶴港に学ぶクルーズ客船誘致・受入の取組～

4月18日（火）、酒田商工会議所主催による「おもてなし研修会」が開催され、約80人の参加がありました。研修会では京都府舞鶴市のクルーズ客船誘致担当の中井主幹が誘致・受入の取り組みを紹介してくださいました。舞鶴港は、2012年にはクルーズ船の寄港は4回（邦船のみ）でしたが、2013年に外国籍クルーズ船を初受入してから寄港が急増し、今年は約40回のクルーズ船を受け入れるまでに活性化しています。

講演では、港と観光地を繋ぐ交通手段にバリエーションを持たせることや、外国人乗客用には「和服」や「サムライ」といった日本文化を感じさせるおもてなしが喜ばれ、クルーにはWi-Fiや両替設備などの需要が高いなど、試行錯誤しながら5年間クルーズ船の受入をしてきた舞鶴市職員ならではの知見をたくさん紹介していただきました。

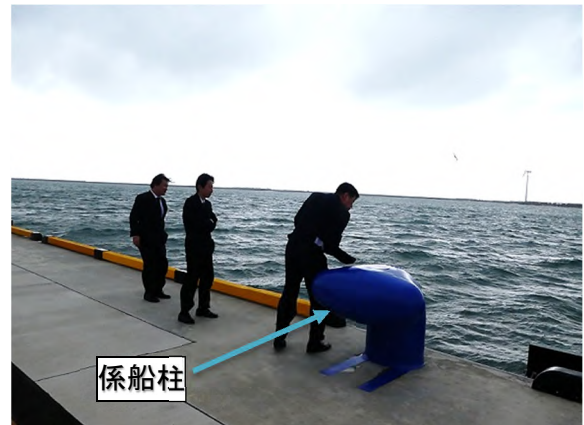
また、今後継続的にクルーズ船を受け入れていくためにも、クルーズ船内見学ツアーや客船見学用遊覧船運行など、市民がクルーズに親しみをもつための取り組みも重要であるとともに、各種おもてなしパフォーマンスや通訳ボランティアなどを地元の人々の「発表の場」とすることで、市民がやりがいを得られる場所とすることもできるといったお話もありました。



舞鶴市 中井主幹



講演会の様子



酒田港視察

